



中部電力

2023年度第3四半期 決算説明資料

2024年1月31日

I	2023年度第3四半期 決算概要	<スライド番号>
	決算概要 1
	セグメント別決算概要 4
	発電電力量 8
	(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績) 9
	2023年度 業績見通しの概要10
	配当の状況12
II	参考データ：決算・財務関連	<スライド番号>
	連結収支比較表13
	連結財政状態の概要14
	財務関連指標15

I 2023年度第3四半期 決算概要

(注) 「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を、「3Q」表記は4月から12月までの期間を指します。
表示単位未満の数値について、金額は切り捨て、販売電力量や発電電力量などの諸元は四捨五入で記載しております。

決算概要①

〈決算のポイント〉(連結)

- 売上高：26,971億円
燃料費調整額等※の減少（△850億円）などから、前年同期に比べ1,169億円の減収
※電気価格激変緩和対策補助金を含む
- 経常損益：4,369億円
期ずれが差損から差益に転じたこと（+3,170億円）や、ミライズにおける電源調達価格の低下、パワーグリッドにおける需給調整にかかる費用の減少などから前年同期に比べ4,648億円の増益
- 親会社株主に帰属する四半期純損益：3,571億円
経常損益の増加などから、前年同期に比べ3,945億円の増益

- ・ 売上高は、2021/3Q以来、2年ぶりの減収
- ・ 経常損益は、2020/3Q以来、3年ぶりの増益
- ・ 2020/3Q以来、3年ぶりの減収増益

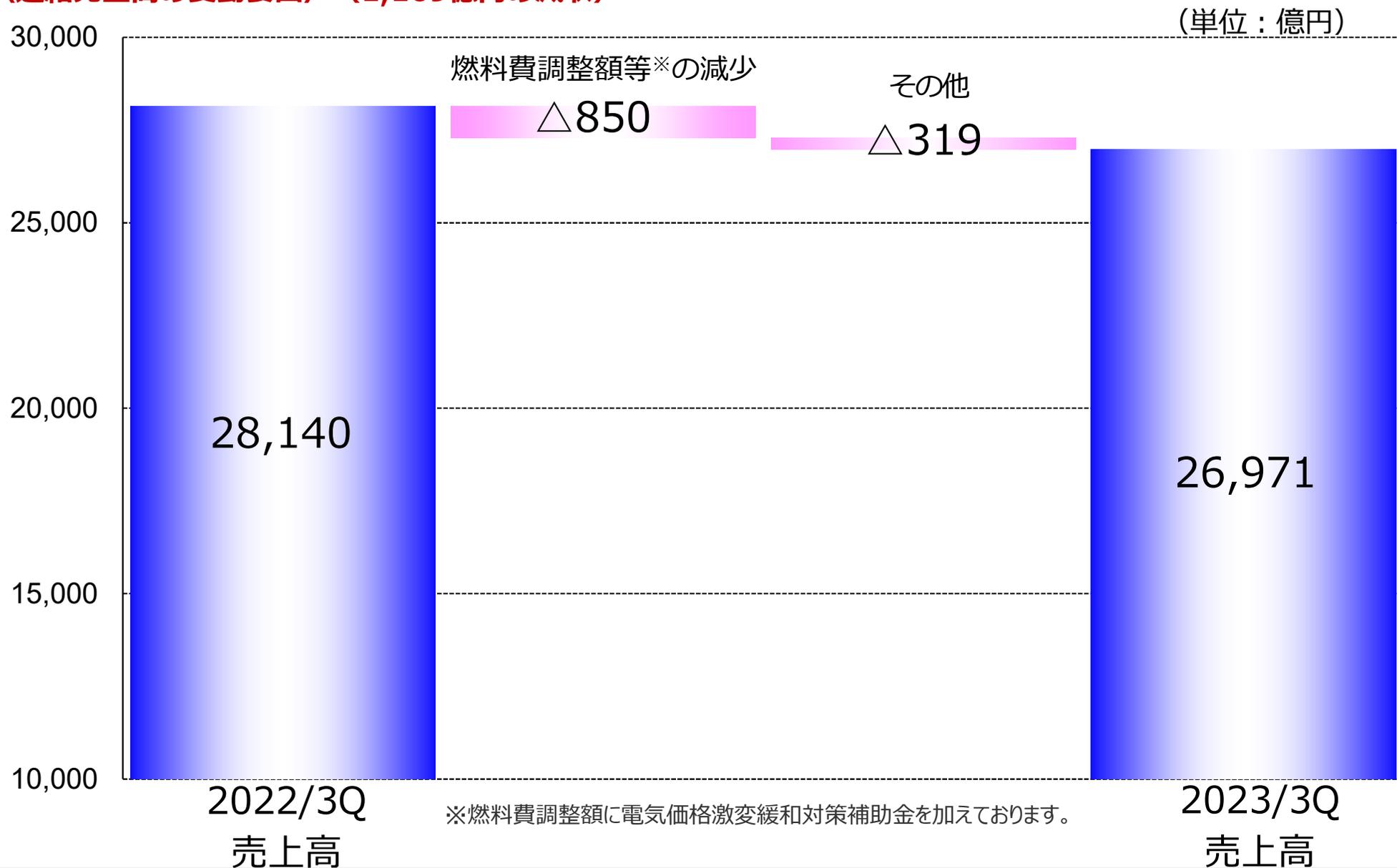
(億円,%)

	2023/3Q (A)	2022/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	26,971	28,140	△1,169	△4.2
営業損益	2,896	482	2,413	500.0
経常損益	4,369 (3,190程度)	△278 (1,710程度)	4,648 (1,480程度)	—
特別利益	64	439	△374	△85.3
特別損失	0	393	△393	△99.9
親会社株主に帰属する四半期純損益	3,571	△374	3,945	—

(注) ・ 連結対象会社数 2023/3Q 連結子会社 66社【+6社】 持分法適用会社 78社【+13社】 【【】内は前年同期差】
・ () 内は期ずれ除き経常損益

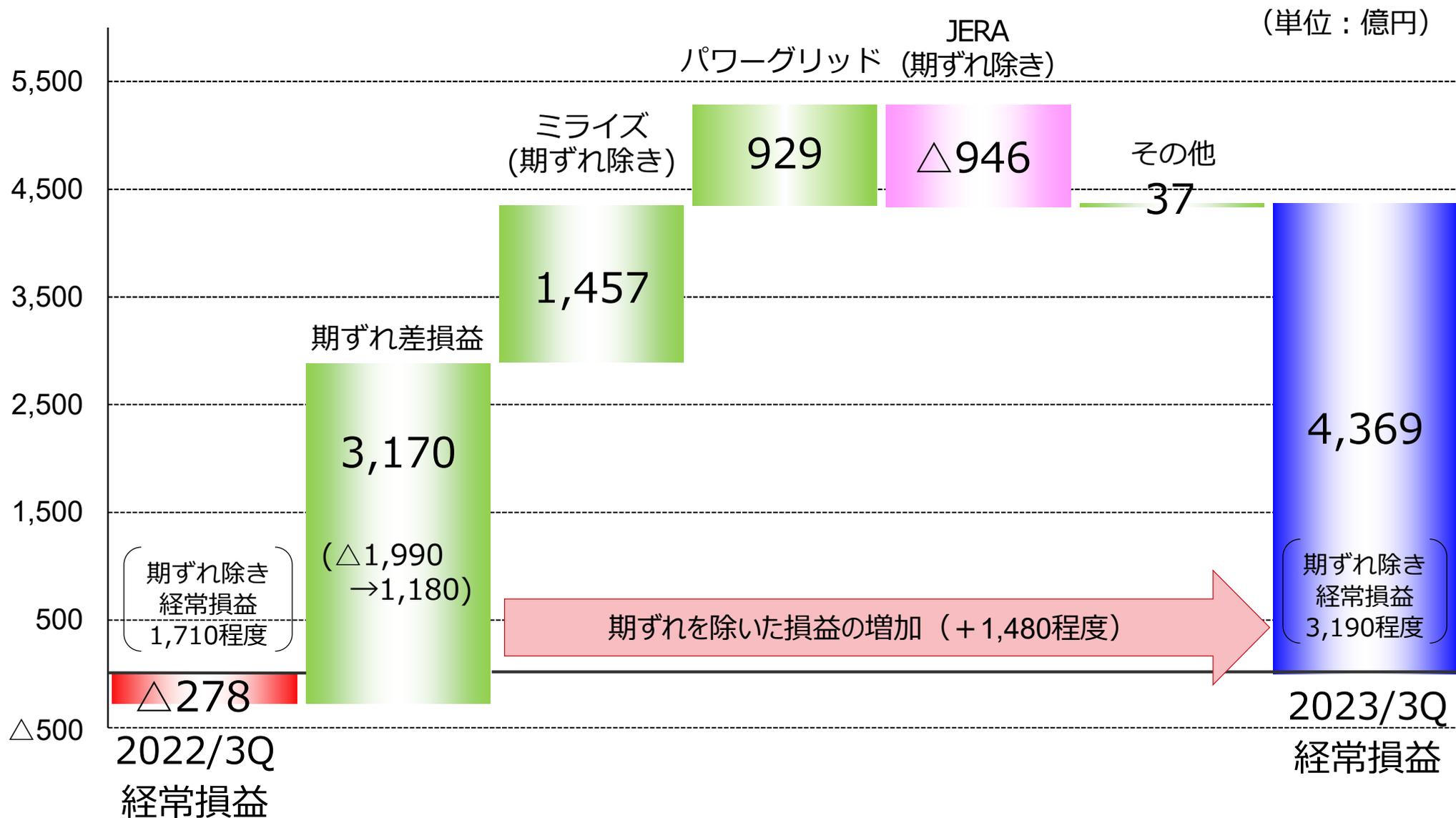
決算概要②

〈連結売上高の変動要因〉 (1,169億円の減収)



決算概要③

〈連結経常損益の変動要因〉 (4,648億円の増益)



セグメント別決算概要①

【売上高】

(億円,%)

	2023/3Q (A)	2022/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	21,665	21,416	249	1.2
パワーグリッド	6,654	8,407	△1,752	△20.8
その他 (※1)	6,528	6,250	278	4.5
調整額	△7,877	△7,933	55	△0.7
合計	26,971	28,140	△1,169	△4.2

【経常損益】

(億円,%)

	2023/3Q (A)	2022/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	1,673	125	1,547	大
パワーグリッド	737	△192	929	—
J E R A (※2)	1,536	△596	2,133	—
その他 (※1)	522	695	△172	△24.8
調整額	△101	△310	209	△67.5
合計	4,369	△278	4,648	—

(注) 各セグメントは内部取引消去前で記載しております。

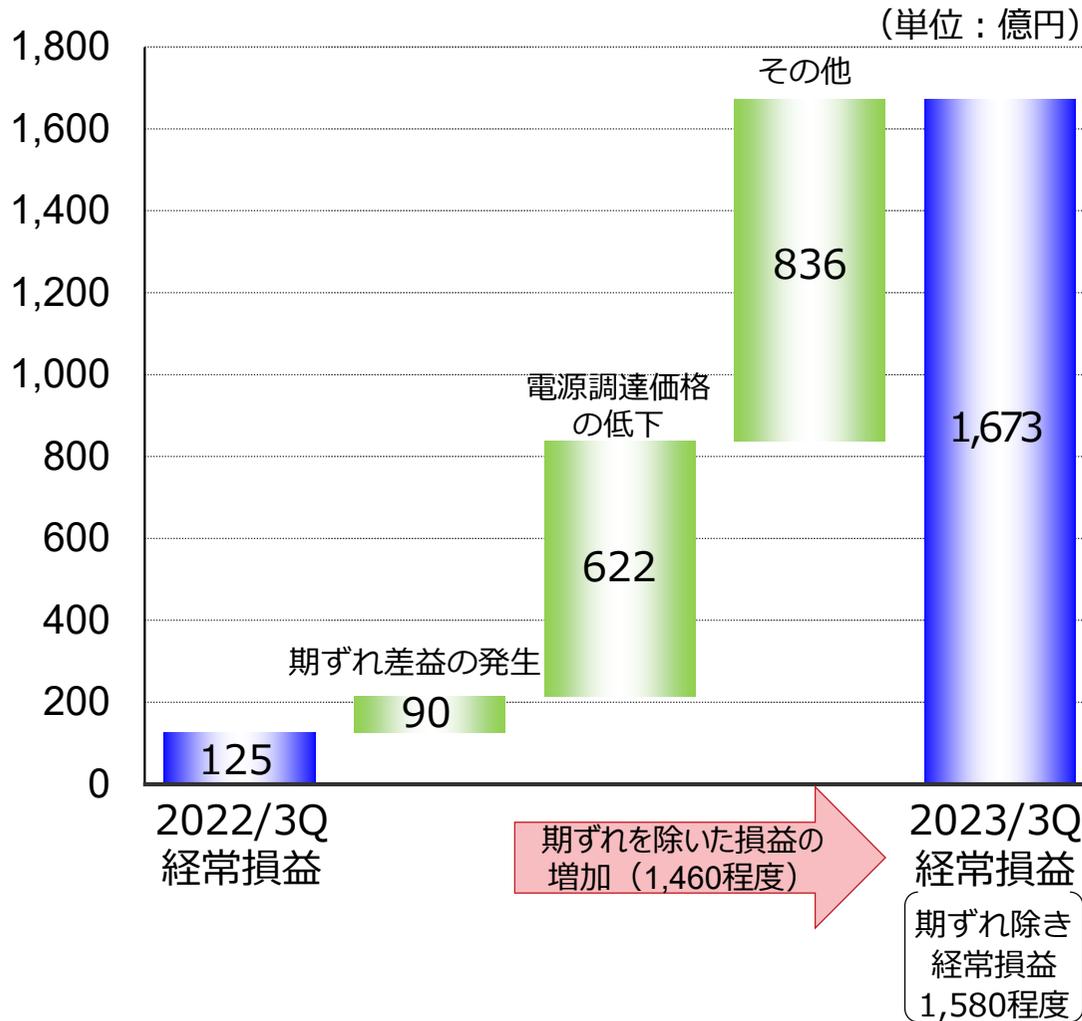
※1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、当社の再生可能エネルギーカンパニー、事業創造部門、グローバル事業部門、原子力部門、管理間接部門、その他の関係会社等を含んでおります。

※2 J E R Aは、持分法適用会社のため、売上高は計上されません。

セグメント別決算概要②：ミライズ

〈経常損益の変動要因〉

- 電源調達価格の低下などにより、前年同期に比べ 1,547億円の増益
(参考) 期ずれを除いた経常損益：1,580億円程度 (前年同期に比べ 1,460億円程度の増益)



(販売電力量)

(億kWh,%)

	'23/3Q (A)	'22/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	207	209	△2	△0.9
高圧・特別高圧	556	546	10	1.8
合計	763	755	8	1.1

競争影響16程度、気温・景気等△7程度

[参考]

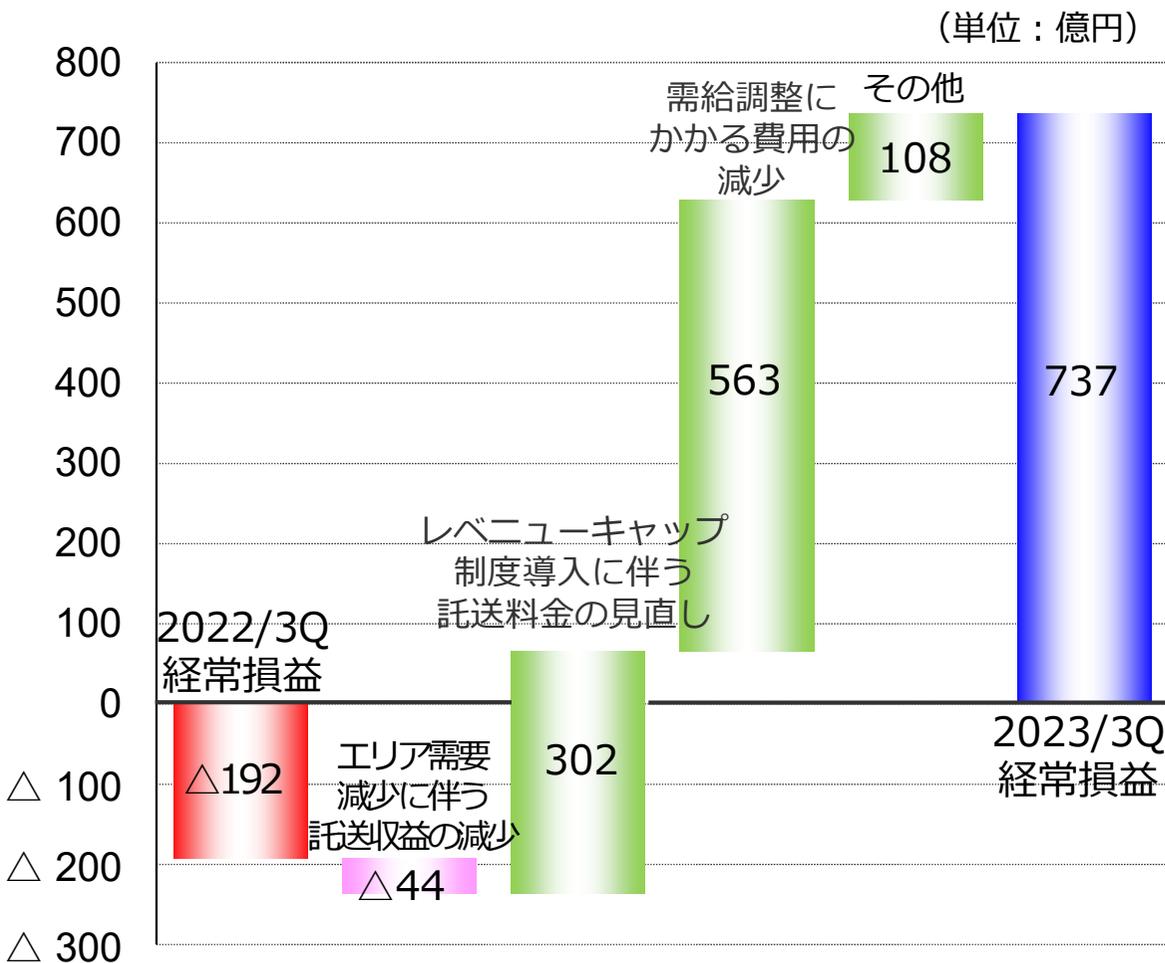
グループ合計の 販売電力量	816	833	△17	△2.0
他社販売電力量	87	87	△1	△0.6

- ※ グループ合計の販売電力量は中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の実績を記載しております。
- ※ 他社販売電力量は中部電力ミライズの子会社および関連会社への販売電力量を除いて記載しております。
- ※ 他社販売電力量は期末時点で把握している電力量を記載しております。

セグメント別決算概要③：パワーグリッド

〈経常損益の変動要因〉

- エリア需要の減少に伴う託送収益の減少はあったものの、レベニューキャップ制度導入に伴う託送料金の見直しや、需給調整にかかる費用の減少などから、前年同期に比べ 929億円の増益



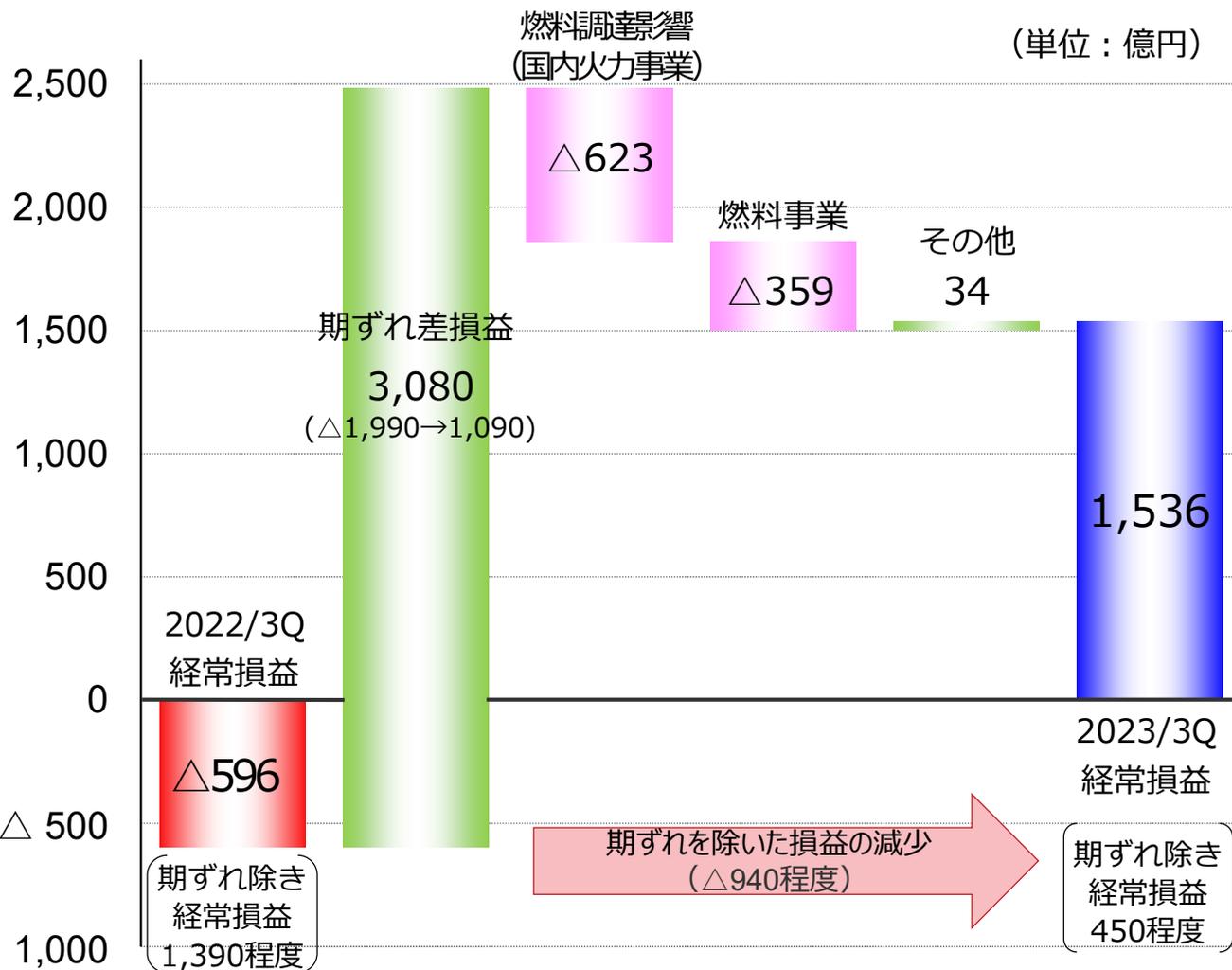
(エリア需要) (億kWh,%)

	'23/3Q (A)	'22/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	262	266	△4	△1.5
高圧・特別高圧	639	649	△10	△1.5
合計	902	916	△14	△1.5

セグメント別決算概要④：J E R A

〈経常損益の変動要因〉

- 期ずれが差損から差益に転じたことなどにより、前年同期に比べて2,133億円の増益
 (参考) 期ずれを除いた経常損益：450億円程度 (前年同期に比べ 940億円程度の減益)



(CIF価格・為替レート)

	'23/3Q (A)	'22/3Q (B)	増減 (A-B)
原油CIF価格(\$/b)	86.6	107.8	△21.2
為替レート(円/\$)	143.3	136.5	6.8

※2023/3Qの原油CIF価格は速報値

(参考：JERA連結決算値) (億円)

	'23/3Q (A)	'22/3Q (B)	増減 (A-B)
連結純損益	3,389 (1,220程度)	△1,332 (2,980程度)	4,721 (△1,760程度)

() 内は期ずれ除き連結純損益

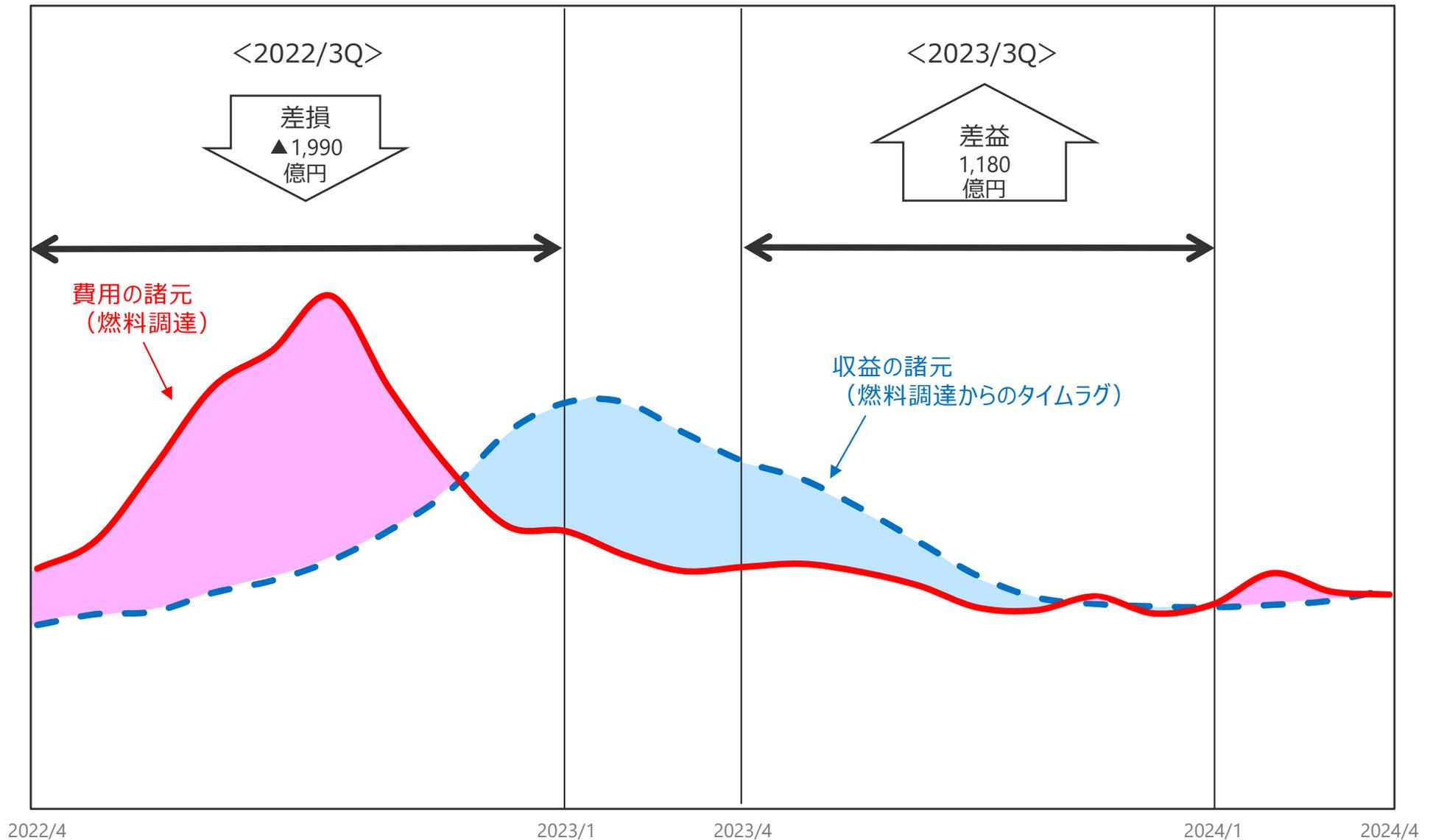
〈発電電力量〉（中部電力）

- 水力 前年同期並み
- 新エネルギー 前年同期並み

(億kWh,%)

	2023/3Q (A)	2022/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
水力 (出水率)	68 (95.7)	68 (95.5)	0 (0.2)	0.1
原子力 (設備利用率)	— (—)	— (—)	— (—)	—
新エネルギー	3	3	0	8.1
合計	71	71	0	0.4

(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)



2023年度 業績見通しの概要①

〈業績見通し〉(連結) 2023年10月27日公表の業績予想値から変更なし

- 売上高 : 3兆6,500億円となる見込み
- 経常損益 : 4,100億円となる見込み

- ・ 売上高は、2021年度以来、2年ぶりの減収
- ・ 2020年度以来、3年ぶりの減収増益
- ・ 経常損益は、2022年度に続き、2年連続の増益

(億円,%)

	今回公表 (A)	10/27公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	36,500	36,500	—	—
経常損益	4,100 (3,000程度)	4,100 (3,000程度)	—	—
親会社株主に帰属する当期純損益	3,300	3,300	—	—

[参考] 前期比較

(億円,%)

	今回公表 (A)	2022年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	36,500	39,866	△3,400程度	△8.4
経常損益	4,100 (3,000程度)	651 (1,560程度)	3,450程度 (1,440程度)	529.3 (92.1)
親会社株主に帰属する当期純損益	3,300	382	2,920程度	763.2

() 内は期ずれ除き経常損益

2023年度 業績見通しの概要②

【主要諸元】

(中部電力ミライズの販売電力量)

(億kWh,%)

	今回公表 (A)	10/27公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,051	1,051	—	—
グループ合計の販売電力量	1,124	1,124	—	—

[参考] 前期比較

競争影響+23程度、気温・景気等+4程度

(億kWh,%)

	今回公表 (A)	2022年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,051	1,024	27	2.6
グループ合計の販売電力量	1,124	1,130	△6	△0.5

※ グループ合計の販売電力量は、中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の値を記載しております。

(その他)

	今回公表	10/27公表	<参考> 2022年度実績
原油CIF価格 (\$/b)	85程度	90程度	103
為替レート (円/\$)	143程度	144程度	136
原子力利用率 (%)	—	—	—

〈株主還元に関する考え方〉

- 電力の安全・安定的な供給のための設備投資を継続的に進めつつ、成長分野への投資を推進することで、持続的な成長を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。
- 株主還元については、重要な使命と認識し、安定的な配当の継続を基本としながら、利益の成長を踏まえた還元を努め、連結配当性向 30%以上を目指してまいります。

〈期末配当予想〉

- 2023年度の期ずれ除き経常損益は3,000億円を想定しております。また、足元の燃料価格等の状況が続けば、来年度以降も一定程度の利益を確保できる見込みです。
- 依然として不透明な事業環境は継続しておりますが、株主還元方針に基づく資本市場の期待等を踏まえ、期末配当予想を「25円」から「30円」に修正いたしました。

	2023年度	2022年度
1株当たり 中間配当金	25円	25円
1株当たり 期末配当金	(30円)	25円
合計	(55円)	50円

※1 期ずれ補正後の連結配当性向 2023年度：19%程度、2022年度：29.3%

※2 () 内は予想値

Ⅱ 参考データ：決算・財務関連

連結収支比較表

(億円,%)

	2023/3Q (A)	2022/3Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
営業収益 (売上高)	26,971	28,140	△1,169	△4.2
持分法による投資利益	1,638	—	1,638	—
その他収益	78	83	△4	△5.5
営業外収益	1,716	83	1,633	大
経常収益	28,688	28,223	464	1.6
営業費用	24,075	27,657	△3,582	△13.0
持分法による投資損失	—	544	△544	—
その他費用	243	299	△56	△18.8
営業外費用	243	844	△601	△71.2
経常費用	24,318	28,502	△4,183	△14.7
(営業損益)	(2,896)	(482)	(2,413)	(500.0)
経常損益	4,369	△278	4,648	—
濁水準備金引当又は取崩し (△)	△7	△1	△5	294.9
特別利益	64	439	△374	△85.3
特別損失	0	393	△393	△99.9
法人税等	809	164	644	392.0
非支配株主に帰属する四半期純損益	61	△20	81	—
親会社株主に帰属する四半期純損益	3,571	△374	3,945	—

連結財政状態の概要

(億円)

	2023/12末 (A)	2023/3末 (B)	増減 (A-B)
資産	69,309	64,551	4,758
負債	42,829	42,928	△99
純資産	26,479	21,622	4,857

	2023/12末 (A)	2023/3末 (B)	増減 (A-B)
自己資本比率(%)	36.7	31.9	4.8
有利子負債残高	30,343	29,257	1,085

(%)

	2023年度予想	2022年度実績	2025年度 中期経営計画公表
ROI C	5.0程度	2.9	3.0以上
ROA	5.0程度	2.8	—
ROE	10.0程度	6.3	7.0程度

※ 期ずれ除きの数値

本資料取扱上のご注意

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる場合があります。